

社会で役立つ実践力 **POWER UP**

ビジネスをサイエンスする

赤穂高校商業科

経済社会で役立つスキルを身につける

地域社会の問題を考え貢献する

困難な課題を突破する力を育てる

通信 vol. 028

3 年課題研究

やっちゃんえ赤穂! プロジェクト

47 赤穂高校創立百周年 P R 連

8/6 (土) 伊那まつり

新聞に掲載されました!



赤穂OBの方々からたくさん声をかけていただきました!
ありがとうございました!!

長野日報 8/10掲載

商業高校開発商品 長野で合同販売

「デパートゆにっと」19日から

県教育長を表敬 イベント P R



教育長にデパートゆにっと開催を報告する木村さん
(前列左から2人目)らマーケティング塾の高校生

長野市、赤穂など県内の商業高校生が実践的に学んでいる「マーケティング塾」(県商業教育研究会主催、松本大学など共催)は活動の成果として19・21の3日間、長野市のながの東急百貨店で自分たちが開発した商品を販売する「デパートゆにっと」を開催する。代表の生徒5人が9日、県庁に原山隆一県教育長を表敬訪問し、イベントをPRした。

長野市のキャラクターをあしらったトートバック、ピカリちゃんバッグや花火や御神渡りといった諏訪地方の四季を和菓子にした「諏訪物語」など50以上の商品を用意。高校生が考え、企業に提案して商品化したもので、諏訪実業高校3年の木村彪雅君(18)「諏訪市清水川は「諏訪の四季」が分かってしまうくらい、何度か試作を重ねた」と話した。マーケティング塾は4年目になる取り組みで、今年度は県内13校、県外3校の高校生が参加。今年度は昨年12月から始まり、商品開発や販売の現場で働く人の指導も受けながら学んできた。

長野市、赤穂など県内の商業高校生が実践的に学んでいる「マーケティング塾」(県商業教育研究会主催、松本大学など共催)は活動の成果として19・21の3日間、長野市のながの東急百貨店で自分たちが開発した商品を販売する「デパートゆにっと」を開催する。代表の生徒5人が9日、県庁に原山隆一県教育長を表敬訪問し、イベントをPRした。

長野日報 8/10掲載



伊那まつり 赤穂高100周年 生徒が P R

伊那市で6日に行われた第44回伊那まつりの市民おどりに、赤穂高校(駒ヶ根市)から「創立100周年 P R 連」が参加した。同校商業科で、商業の学びを地域に生かす活動「やっちゃんえ赤穂!プロジェクト」に取り組み生徒と有志29人が連をつくり、まつりを盛り上げた。

今年度中に行われる100周年記念事業に対する伊那地域の同窓生や関係する人たちの協力に対する感謝と、同校の100年の歴史を多くの人たちに知ってもらうためにプロジェクトの生徒ら有志が募って参加した。

生徒たちは校章を描いた大あんどんを引き、10月15日の記念式典を知らせた。同校によると、連の擦れ違いでは、多くの同窓生から声を掛けられたという。参加した生徒らも反響に満足そうだったという。



いよいよ開催迫る!
長野市へぜひお出かけください!